森田地区の誇り

文化と活力のあるまち森田

九頭竜川は、県内外の釣り人から「サクラマスのブランドリバー」と呼ばれている。
また、流域はアラレガコの生息地として、国の天然記念物に指定されており、そこで、『サクラマスサミット』では、「九頭竜川を誇りにしよう」と、

県内外の釣り人と、地元住民との対話集会や、川環境を整えサクラマスやアラレガコを守り増やすための学習会を開催している。この思いを後世に残すために、子どもたちに伝えたり、食文化の継承のために「森田定食」を考案したり、この定食を振る舞えるまでしようと活動の広がりを見せている。

JR森田駅を利用者にとって、愛着のある駅にしようと夢駅を開催し、イルミネーションや、電車への乗車体験などを行い、イメージアップを図っている。
また、駅舎内の「夢ギャラリー森田」では、月替わりで作品を展示している。

森田の石盛町はもともと「石丸」という地名で、南北朝期の「太平記」には石丸に城があったという記述がある。平成22年の遺跡発掘では烏帽子が出土し、そのことからも、城跡公園としての整備気運が高まってきた。

前 森田公民館 館長
吉村 公司さん

教職を退職後、公民館館長を歴任。「森田地区の歴史や文化に精通し、地区の課題を解決するために、さまざまな活動を展開してきました。地区内外へのPR活動も積極的に行い、森田への誇りが高まりました」と話す。

森田公民館
住　所／福井市下森田藤巻町2
電　話／0776-56-0195
交通機関／JR「森田駅」から徒歩５分